

市政記者各位

2026年 3月19日
福岡市博物館

博多人形《三人舞妓》が 福岡市博物館に寄贈されることになりました

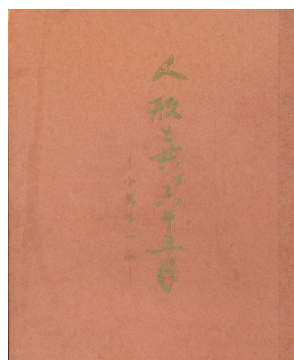
博多人形《三人舞妓》は、博多人形師・小島与一（1886-1970）の代表作で、大正14年（1925）のパリ万博で銀賞を受賞したことがよく知られます。パリへ渡った人形のその後はわかっていませんが、小島与一作の《三人舞妓》は数体存在し、これらが数多くの博多人形関連の刊行物に掲載され「博多人形の最高峰」と称えられてきました。福博であい橋に建立された銅像「三人舞妓」は、今も市民に親しまれています。

このように福岡の文化史にとって重要な《三人舞妓》ですが、人形現物は1984年に福岡県立美術館で展示されて以降、長らく所在が地元の関係者の間でもわからなくなっていました。

この度、志ある個人からのお申し出により、この《三人舞妓》が福岡市博物館に寄贈されることになりました。今回ご寄贈いただく1体は、小島与一の生前、1962年に刊行された伝記『人形と共に六十五年一小島与一伝』のカラー口絵に掲載されたものです。

現在、福岡市博物館で開催中の特別展「魔法の歴史スコープ」
（詳細は下部参照）において展示しています。

福岡では42年ぶりの一般公開です。ぜひご取材ください。



『人形と共に六十五年一小島与一伝』



福博であい橋の銅像「三人舞妓」
（2012年職員撮影）



現在展示中の《三人舞妓》

展覧会概要

特別展「魔法の歴史スコープ～見つめてみよう福岡の今～」

会期：2026年2月21日（土）～4月12日（日）

会場：福岡市博物館 特別展示室

時間：9時30分～17時30分（入館は17時まで）

観覧料：一般800円（600円）、高大生500円（400円）、
中学生以下無料※（ ）内は前売料金、20人以上の団体料金



■お問い合わせ先 福岡市博物館 学芸課（杉山・佐々木） TEL 092-845-5011 FAX 092-845-5019